平成29年6月25日発行　第六十八巻第四号

# 岡山畜産便り

## 2017 6

奈義町　　国富　登子さん（肉用牛）

もくじ

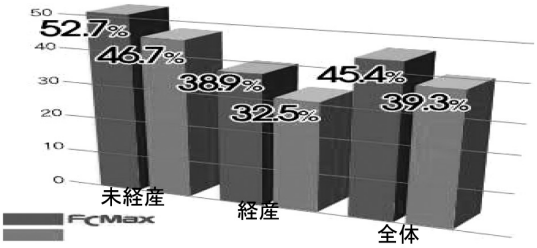
〔酪大だより〕
第53期生が入学しました!!
（公財）中国四国酪農大学校 …… 1
平成29年度の岡山県重点施策・普及指導重点課題について
岡山県農林水産部畜産課 …… 2
平成29年度家畜共済事業重点実施方策
岡山県農業共済組合連合会 …… 5
平成29年度全農岡山県本部重点事業及び重点取組課題
全農岡山県本部畜産部 …… 6
平成29年度重点事業について
おかやま酪農業協同組合 …… 7
平成29年度重点事業・畜産農家からの相談対応一覧
（一社）岡山県畜産協会 …… 8
〔畜産現場の声〕
家族ぐるみで一貫経営
国富　登子（奈義町） …… 11
〔県民局だより〕
飼料用トウモロコシで畜産農家も耕種農家も幸せに
備前県民局畜産班 …… 12
〔家保のページ〕
「岡山家畜保健衛生所家畜病性鑑定課」の紹介
岡山家畜保健衛生所家畜病性鑑定課 …… 14
〔技術のページ〕
平成29年度　畜産研究所の主な試験研究課題について
岡山県農林水産総合センター畜産研究所
企画開発グループ …… 16
〔特集〕
最終審査会までカウントダウン！
～第11回和牛能力共進会宮城大会への取組状況～
第11回全共岡山県出品対策協議会事務局 …… 18
〔６次化商品の紹介①〕
地域とのコラボレーション
（一社）岡山県畜産協会経営対策班 …… 20
〔お知らせ〕
平成30年度学生募集・オープンキャンパス
（公財）中国四国酪農大学校 …… 21
岡山県農業大学校　平成30年度入学　学生募集について
岡山県農業大学校 …… 22

二層式ストロー

# FCMax
エフシーマックス

特許　第5738314号

○従来のストローとFCMaxの受胎率の差




受胎率
**6.1ポイントUP**

雌雄産み分け用性選別精液

**Sort90**

・Sort90は♂・♀の産み分け率が90％以上！
・Sort90は全てFCMaxを用いて生産！

※FCMax及びSort90のメニューにつきましては、当センターまでお問い合わせ下さい。

一般社団法人 家畜改良事業団
LIVESTOCK IMPROVEMENT ASSOCIATION OF JAPAN, INC.

岡山種雄牛センター　Tel:0868-57-2475

メディパルグループ

# MPアグロは「安全・安心・安定供給」を追求します

●安全な畜水産物の生産をサポートし、
獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

## MPアグロ株式会社

本社　〒061-1274　北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
TEL　011(376)3860　FAX　011(376)3450

岡山支店　〒709－2122　岡山市北区御津吉尾1－1
TEL　086-724-4880　FAX　086-724-4889
東京本部・岡山オフィス・福岡オフィス
札幌・函館・旭川・帯広・北見・釧路・東京・青森・秋田・盛岡・山形・仙台
岡山・広島・山口・鳥取・島根・松山・宇和島・高松・徳島・大阪第一・大阪第二・兵庫
福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋
札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・御津物流センター・福岡物流センター
AHSC西日本・AHSC九州

＊AHSCはアニマルヘルスサポートセンターの略称です

〔酪大だより〕

# 第53期生が入学しました!!

公益財団法人中国四国酪農大学校

例年にない大雪に見舞われた冬を越え、県北の蒜山高原にも春の訪れが感じられ始めた4月6日、公益財団法人中国四国酪農大学校に第53期生28名が入学しました。

近年、岡山県出身の入学者数は少なく、他県勢に押され気味でしたが、53期生は28名中10名が岡山県出身者であり、そのうちの8名が非農家出身ということから、県内の若者たちの畜産業に対する関心度の高まりがうかがえます。

昭和36年に「岡山県立酪農大学校」として設立され、昭和40年に中国四国９県と兵庫県を合わせた10県で構成する「財団法人中国四国酪農大学校」に改組した本校は、平成22年に専修学校の認可を受け、平成25年には公益財団法人に移行しました。『経営感覚と確かな技術を持った人材の育成』『酪農を通じて地域に貢献できる人材の育成』『社会人としての基礎力を備えた人材の育成』を教育理念に掲げ、卒業後に即戦力として認められる技術、知識の修得を目指した実践教育を行っています。

酪農現場で役立つトラクターやフォークリフト等の作業機械免許や人工授精師、受精卵移植師、削蹄師等の資格を取得する機会を設けるとともに、国内で多く見られる２種類の飼養形態を採用した２つの付属牧場で実践を重ねることにより、机に向かっての授業だけでは得ることのできない技術の修得を目指しています。

また、今年１月には関係機関のご支援のもと、本校第２牧場が岡山県内で初めて、かつ、教育機関として全国で初めて農場ＨＡＣＣＰ認証農場に認定されました。この取り組みにより作業手順や緊急時対応手順をマニュアル化することで、食品の安全確保について生産現場で学ぶことができるだけでなく、飼養管理技術、知識の修得をより効果的に行うことができると期待しています。

このような環境の中で、53期生には１つでも多くのことを学び、２年後に立派な畜産人として巣立っていってほしいと思います。

昨今、日本の畜産業はさまざまな課題を抱えており、業界を取り巻く環境は厳しさを増す一方ですが、この現状を打破し畜産業界に新風を吹き込む人材の育成を目指し、日々精進してまいりますので、酪農家、肉用牛農家を目指す若者に、ぜひ本校をお勧めください。

第53期生　入学式にて

**── オープンキャンパスのご案内 ──**

第１回：平成29年７月20日㈭～ 21日㈮

第２回：平成29年８月24日㈭～ 25日㈮

本校の学生生活の様子や実習内容などについて体験しながら理解を深めて頂くため、１泊２日のオープンキャンパス（体験入学）を開催します。詳しくはホームページ、またはＥ-mail、電話でお問い合わせください。

ホームページ：http://www.rakudai.ac.jp

Ｅ-mail：info@rakudai.ac.jp

ＴＥＬ：0867-66-3651

ＦＡＸ：0867-66-3652

# 平成29年度の岡山県重点施策・普及指導重点課題について

岡山県農林水産部畜産課

## 1　岡山県重点施策

岡山県では「新晴れの国おかやま生き活きプラン」や「攻めの農林水産業育成プログラム」に基づき、農林水産業の強化を図り、儲かる産業としての実現を目指しています。

特に畜産においては、酪農や肉用牛等の生産振興、飼料自給率向上、担い手確保、消費拡大、危機管理体制の強化、技術開発などの対策に取り組み、総合的に畜産振興を図ることとしていますが、本年度の主な重点施策は次のとおりです。

### (1) 生産振興対策

**○畜産クラスター事業**

地域の畜産関係者が連携して、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための計画を策定し、中心的な経営体が計画に即して実施する施設整備や機械導入等を総合的に支援することで、地域の生産基盤の強化を図ります。

＜事業内容＞

①施設整備事業
（施設整備を支援）

②機械導入事業
（機械のリース導入を支援）

③実証支援事業
（収益力向上のための実証を支援）

**○暑熱ストレス低減で乳量アップ！酪農支援事業**

乳用牛の暑熱ストレスによる生産性の低下が課題となる中、遮熱効果が高く耐久性に優れたセラミック塗料による畜舎屋根塗装の普及を図ります。

＜事業内容＞

セラミック塗装の施工経費の一部支援と実証展示により、遮熱効果や生産性のデータを収集し、研修等により普及を図ります。

**○「ジャージー×岡山和牛」コラボで増産！蒜山地域活性化事業**

ジャージー酪農経営の生産基盤の強化と収益性向上により、ブランド力の強化を図ります。

＜事業内容＞

①優良後継牛確保対策
（性判別受精卵等の活用による後継牛確保）

②収益性向上対策
（和牛受精卵の活用による収入の増加）

**○第11回全国和牛能力共進会への出品対策**

平成29年９月に宮城県で開催される本大会に向けて、県出品対策協議会の構成員と連携し、農家巡回による候補牛の管理指導、県代表牛の審査・選抜、出品等の取組を推進します。

**○高品質繁殖母豚導入事業**

子豚生産能力の高い繁殖母豚の導入を支援することで、養豚経営の生産基盤強化を図り、岡山県産豚肉の安定供給を推進します。

### (2) 飼料自給率向上対策

**○飼料自給率向上対策事業**

水田等を活用した自給飼料の生産や利用の推進を図り、持続可能な儲かる畜産業の実現を目指します。

＜事業内容＞
①稲ＷＣＳ専用品種の作付拡大支援
②飼料用トウモロコシの作付拡大支援
③水田飼料作物の利用拡大支援

**○耕畜連携による水田での「飼料用トウモロコシ」の実証事業**

大型米麦農家による水田での実証ほの設置と耕畜双方の関係機関が連携した普及啓発活動を推進し、作付拡大に取り組みます。
＜事業内容＞
大型米麦農家による栽培実証、稲作農家を対象とした講習会の実施、普及推進のための資料作成や研修会を実施します。

**(3) 担い手確保対策**

**○酪農担い手確保対策事業**

（公財）中国四国酪農大学校では、将来にわたって持続可能な運営を実現するため、「中期運営計画」を策定しています。この中で、魅力ある学校づくりや運営基盤の強化に向けた取組を行うこととしており、その取組を支援することにより、学生の就学を促進し、次世代の酪農の担い手を確保し、本県の酪農振興に資することとしています。
＜事業内容＞
①教育事業（学生教育の実施）
②運営体制強化事業（教育カリキュラムの充実、学生支援活動の実施等）

**○肉用牛生産条件特別整備事業**
**（新規就農者への支援）**

「和牛入門講座」の受講生等新たに就農を目指す方に対し、家畜導入等の初期投資額の一部を支援します。

**(4) 消費拡大対策**

**○牛乳・乳製品消費拡大事業**

県産牛乳の安定的な消費に資するため、学校給食への供給事業を適正かつ円滑に推進します。また、毎年６月の牛乳月間や各種行事で、牛乳の持つ健康機能等をＰＲします。

さらに、岡山県マスコット「ももっち」を用いた「県産生乳100％認定制度」の普及に努めます。

**(5) 安全で安心な農林水産物の生産と信頼確保の推進**

**○家畜伝染病予防事業**

家畜伝染病予防法に基づき、家畜伝染病の検査、消毒、病性鑑定等を実施し、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止により、畜産経営の安定と安全な畜産物の供給を図ります。

特に高病原性鳥インフルエンザと口蹄疫については、農場の飼養衛生管理基準の遵守による侵入防止対策や監視体制の強化に努めるとともに、発生時必要となる資材等の備蓄を図るなど、大規模農場においても対応できる体制づくりを進めます。

**(6) 畜産の技術開発**

農林水産総合センター畜産研究所では、畜産物の安全・安心はもとより、消費者ニーズに対応した高度な技術を迅速に開発普及するため、３つの重点分野（ブランド力の強化、環境との調和と気象変動への対応、生産性の向上）を定めて研究開発を行い、成果の速やかな実証と普及を図ることとしています。

これらの事業が円滑かつ効果的なものとなるよう引き続き御協力をお願いします。

## ２　岡山県普及指導重点課題

畜産普及指導業務を県民局農畜産物生産課において実施する体制となり３年目を迎えます。行政と一体となり、効率的かつ効果的な取組となるよう努めてまいります。

以下、各地域の普及指導計画を紹介します。

**【岡山・東備地域】**

[課題名]

水田を活用した粗飼料供給・利用体制の確立

[内容]

○飼料用トウモロコシの実証ほ展示、安定多収栽培技術や栽培体系の確立

○稲ＷCS専用品種の栽培・利用体系の確立

**【岡山地域】**

[課題名]

畜産クラスター等地域と連携した酪農振興

[内容]

○畜産クラスター協議会や酪農支援チーム等地域の推進体制の支援

○暑熱対策実証農家の検証や乳質の改善

**【倉敷・井笠地域】**

[課題名]

畜産クラスターによる規模拡大と産地育成の支援

[内容]

○各農家の個別指導による生産性の向上

○増頭計画に伴う自給飼料増産対策の実施

○臭気対策や良質堆肥の生産流通など環境保全型農業の推進

**【高梁地域】**

[課題名]

国産飼料の生産・利用技術の向上に対する支援

[内容]

○耕作放棄地への和牛放牧面積の拡大

○地域内での和牛肥育もと牛の生産拡大

○飼料用米SGSの利用拡大

**【新見地域】**

[課題名]

新たな飼育者確保による増頭体制の確立

[内容]

○放牧の導入推進

○公共育成牧場の運営支援

○中規模農家への稲ＷCS利用促進

**【津山・真庭・勝英地域】**

[課題名]

耕畜連携による地域産粗飼料生産・利用の推進

[内容]

○高品質稲ＷCSの生産と円滑な収穫調製に向けた取組支援

○耕畜連携による飼料用トウモロコシ生産・利用の取組の推進

○飼料用トウモロコシの安定生産技術の確立支援

[課題名]

畜産クラスターによる生産基盤強化と生産性向上

[内容]

○全体計画の策定支援

○関係機関の連携強化による事業実施推進

○実施経営体への重点指導によるモデル経営の育成と普及

[課題名]

肉用牛新規就農者受入体制整備と就農支援

[内容]

○就農希望者及び新規就農者への支援体制の確立

○「空き牛舎バンク」の整備による遊休施設の有効利用推進

# 平成29年度家畜共済事業重点実施方策

岡山県農業共済組合連合会

## 1　事業推進の方策

家畜共済事業は、家畜の死亡・廃用・疾病及び傷害などの事故に対し、損害を補填する制度です。

昨年度の実績は、病傷事故件数は、例年並みとなりました。死亡廃用事故件数では、乳牛で1.4％の増加、肉用牛では0.6％の減少となりましたが、乳用子牛等、肉用子牛等では、１月以降に寒気の影響もあり増加傾向となりました。畜産情勢は、資材費並びに導入牛・子牛価格の高騰などの諸事情により依然厳しい状況が続いています。

NOSAI岡山では、制度の普及はもとより農家経営のセーフティネットとなるよう適正実施に取組んでいきます。

⑴年２回の家畜飼養頭数調査を実施し、資源把握を行い、組合等とともに制度の周知徹底を図り、引受拡大による農家の損失補填に努めていきます。

⑵関係する研修会等へ積極的に参加して農家ニーズの把握に努め詳細に制度説明を行ない加入率の向上を図っていきます。

⑶子牛及び牛の胎児並びに豚を積極的に加入推進し、農家の補償拡大を図っていきます。

## 2　家畜診療所の運営

昨年県下で25,562件の病傷事故が発生し、その内77％に当たる19,773件の事故について県下７箇所の連合会家畜診療所と１支所で診療を行いました。

また、本年は38名の獣医師により診療業務及び損害防止事業を行っています。

家畜診療所は次の項目を重点とし業務を行います。

⑴畜産経営の安定を図るため、診療業務及び損害防止体制を充実させ、支援体制を強化していきます。

⑵獣医師は、治癒率向上のため、疾病牛の早期摘発、早期治療を行います。

⑶生産獣医療体制の強化のため、職員の専門化を進め指導者を育成します。

⑷技術研究会の活動を中心として、獣医師の技術及び資質の向上に努めます。

## 3　損害防止事業の実施方策

死廃・病傷事故低減を図るため、生産獣医療支援センター、家畜診療所が中心となって農家及び関係機関との連携により、特定損害防止事業、一般損害防止事業の充実を図ります。

⑴組合員等の畜産経営安定のために、繁殖検診等の支援体制を充実します。

⑵子牛及び牛の胎児の事故を減少させるため、分娩時の飼育管理指導をします。

⑶肢蹄疾患を減少させるため、岡山県装削蹄師会と連携し事故防止に努めます。

NOSAI岡山では、以上の他診療体制を整備し診療業務を充実させることはもとより、畜産農家への支援により収益向上、消費者への安心・安全の提供防疫体制の拡充等に貢献することが重要な業務と考えておりますので皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

# 平成29年度重点事業及び重点取組課題

全農岡山県本部　畜産部

| 実行具体策 | 29年度行動計画（数値目標） |
|---|---|
| **１．生産基盤の維持・拡大** | |
| ⑴和牛繁殖基盤維持拡大のため、ＪＡと協力した新規参入・経営転換支援による増頭推進 | 繁殖雌牛30頭 |
| ⑵地域のクラスター協議会への参加 | １クラスター |
| ⑶ＪＡ畜産経営継承支援事業の周知および活用 | 実施 |
| **２．和牛子牛高値販売に向けた指導取組強化** | |
| ⑴岡山和牛子牛資質向上対策協議会と連携した、データ分析に基づく農家指導による推奨子牛認定率の向上 | 認定率25％以上 |
| ⑵和牛子牛の商品性向上に向けた普及・啓発活動の実施 | 各部会（継続） |
| **３．県産畜産物の販売事業強化** | |
| ⑴新たな直販事業（外食店舗・直販店舗）による消費者への直接販売の検討 | 新規直販事業計画作成<br>（H30年度事業展開） |
| ⑵他業種と連携した、畜肉を利用したハム･ソーセージ等並びに鶏卵を利用したスイーツ等の開発・販売 | 食肉１品目（金額：100万円）<br>鶏卵１品目（金額： 20万円） |
| ⑶岡山県産和牛肉のブランド認知向上にむけた首都圏への県産和牛肉の販売 | 30頭 |
| **４．耕畜連携による農業の生産力向上** | |
| ⑴飼料米・SGS等、耕畜連携による循環型農業の推進 | 3,300トン（SGS含む） |
| **５．全共上位入賞のための支援** | |
| ⑴全共出品委員会と協力した出品への支援を行う | 実施 |

# 平成29年度重点事業について

おかやま酪農業協同組合

## Ⅰ　基本方針

我が国の情勢は、国外の要因で大きな混乱を受けない限り、昨年に引き続き緩やかな経済成長が期待できる。雇用環境の改善は図られつつあるが、非正規雇用の拡大と若年層を中心として高まる社会保険料や年金の信頼性に対しての将来不安は払拭されていない現状にある。

酪農情勢としては、生乳需給のひっ迫が予測されることから、生乳需給安定化対策の数量超過、未達に係るペナルティ措置は休止となり、今年度に於いても意欲的に生乳生産活動ができる環境にある。さらに、Ｊミルクは国内の乳用牛資源不足に危機感を表明し、乳業メーカーの財源拠出で海外からの導入も含めた総合的な基盤強化特別対策事業を３年間実施すると決めた。

このような情勢の中、酪・肉近代化基本方針の「人・牛・飼料」を再確認し、生乳需給動向に沿った生産と経営安定を目標として各事業に取り組んでまいります。

**事業重点推進方法**

１．生乳生産量90,500t、購買取扱数量72,900t、流通取扱頭数8,300頭以上を目標として取り組みます。
２．生乳の安全・安心（ポジティブリスト制）確保に取り組みます。
３．財務の拡充を図ります。
４．中販連、全酪連と連携し、事業推進を強化します。
５．行政、諸機関の指導・情報・補助事業等積極的に取り組みます。

## Ⅱ　各事業の運営方針

### １．生産支援事業

後継牛確保対策として、自家保留牛助成、雌選別精液助成、雌鑑別受精卵・性判別受精卵に助成を行い、雌資源の確保に努めます。また、クラスターＥＴ事業に取り組み後継牛確保と和牛生産による収益の向上に努めます。

自給率向上と稲ＷＣＳの利用を推進し、安定的な供給に努めます。

新規就農者の確保と担い手育成に努めます。

### ２．酪農ヘルパー事業

おかやま酪農ヘルパー利用組合との相互理解の上でヘルパー事業を推進します。

円滑なヘルパー派遣を行うため、専任及び臨時ヘルパーの確保に努めます。

### ３．改良登録・精液・牛群検定事業

乳牛の遺伝的改良に取り組み、個体の生涯生産性向上を図ります。

### ４．診療・受精卵移植事業

超音波画像診断装置を用いた繁殖健診を行い、繁殖成績の向上と飼養管理指導の普及および効率的な生産を目指します。

採卵・移植技術を利用し、優良乳用雌牛の生産やＩＶＦ産子（和牛）の効率的な生産を施します。

### ５．乳牛流通事業

県補助事業に取り組み県産後継牛の増産に努めるとともに、預託事業・搾乳素牛導入事業（高品質乳牛導入事業、乳質改善対策事業、搾乳素牛確保支援事業）に取り組み、生産基盤の確保と酪農経営の安定に努めます。

### ６．販売事業

中国生乳販連が取り組む農業競争力強化プログラムの中での指定団体の機能強化を積極的に支援すると共に、生乳生産者に選んでもらえる生乳受託団体を目指します。

生乳の安全･安心を更に確保するため、抗生物質残留検査等の内容・制度の向上を実施し､販売不適合生乳の発生を低減します。

### ７．購買事業

飼料給与指導に重点を置いた事業推進を行います。

### ８．経理

組合財務の安定と健全性に努め適正な運営を図ります。

### ９．経営支援事業

国のクラスター関連事業や岡山県の支援を受けながら中酪事業を推進し、経営の安定と生産性向上を図ります。

### 10．特別対策室

組合員の酪農体質強化と収益性の安定・向上支援に努めます。

### 11．経営管理

各事業体制の見直しを行い、効率的な事業運営に努めます。

コンプライアンス態勢の強化と不祥事未然防止の強化に努めます。

# 平成29年度重点事業について

一般社団法人岡山県畜産協会

**①健全な畜産経営体を育成するための経営診断・指導及び担い手・女性経営者の育成**

**○畜産経営技術高度化促進事業（県受託）**

県が策定した「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための計画」達成のため、畜産農家の経営診断、酪農経営支援チームによる経営改善指導、岡山和牛の増頭と資質向上を図るための四ツ☆子牛を推進します。（経営診断等支援40戸）

**○女性・リタイア世代等就農定着等推進事業（中畜受託）**

酪農経営の担い手となる後継者や新規就農者等の個々のスキルアップと、経営の担い手としての労務管理のポイントや経営者としての心構えを身につけるための研修会や日常の経営支援を行います。

**○和牛を育てよう！チャレンジ支援事業（全国競馬・畜産振興会補助　H27～29）**

和牛入門講座を開設し、他産業あるいは畜産他部門からの新規就農者を発掘・育成するとともに、参入間もない繁殖経営者を対象に和牛未来塾を開催します。

・受講者（H19～28　延べ91人うち新規13人）

**○畜産経営における女子力発揮推進事業（中畜受託）**

若手女性経営者を対象に経営管理や飼養技術等について勉強会を開催するとともに、他県との情報交流セミナー等を行います。

**○畜産特別資金推進指導事業（中畜補助）**

資金借受者の経営体質強化のため、経営分析に基づく指導を実施します。（濃密指導２戸、現地指導４戸他）

**②酪農肉用牛振興対策**

**○畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター機械導入事業、中畜受託）**

畜産クラスター計画に基づき、生産コストの低減、畜産物の高付加価値化、飼料自給率の向上を通じた畜産経営の収益性の向上に必要な機械装置の導入を希望する経営者に対し、導入希望調査を実施し、要望を取りまとめます。

・H27、28補正内示額276,134千円、71件

**○酪農経営安定化支援ヘルパー事業（機構補助）**

ゆとりある生産性の高い酪農経営の実現及び担い手の確保を図るため、酪農ヘルパー人材育成支援、傷病時利用時の負担軽減等利用組合の強化を支援します。

**○肉用牛経営安定対策補完事業（機構補助）**

肉用牛ヘルパー活動の推進や中核的担い手の育成と増頭、簡易牛舎等の整備を推進します。（予定頭数270頭）

**○飼料自給率向上対策事業（県受託）**

自給飼料の生産・利用技術研修、飼料用稲の給与流通体制の検討、コントラクターの利用調整活動を行います。

**○飼料生産型酪農経営支援事業（国補助）**

環境負荷軽減に取り組む酪農家に対し、奨励金を支払います。

**○畜産動産担保融資活用推進事業（機構補助）**

中央畜産会が作成した「畜産ＡＢＬの円滑な導入・定着のためのマニュアル」に基づき融資事例の組成とモニタリング・バックアップスキームの構築を行い活用を拡げます。

**③価格安定対策**

**○肉用牛肥育経営安定特別対策事業（機構・県補助）**

肉用牛肥育経営の安定化と肉用牛生産基盤の拡大に資するため、出荷された肥育牛の収益が生産費を下回った場合、造成した

基金を取り崩し、差額の８割を肥育補填金とし交付します。

**○肉用子牛生産者補給金制度**
**（機構・県補助）**

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合、生産者に対して生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定化等を図ります。（保証基準価格－黒毛和種339千円）

**○肉用牛繁殖経営支援事業（機構補助）**

肉用子牛の四半期別の平均売買価格が発動基準（黒毛和種46万円）を下回った場合、子牛に対して、発動基準を下回った額の３／４を交付します。

**○養豚経営安定対策事業（機構・県補助）**

肉豚経営の安定化を図るため、粗収益と生産費の差額の８割を補填金として交付します。

**④家畜伝染性疾病の発生防止、衛生管理の向上等自衛防疫の推進**

**○予防注射事業（協会）**

家畜の伝染性疾病の発生を防止するため牛異常産３種混合等のワクチン接種を計画的に実施します。

**○家畜生産農場清浄化支援対策事業**
**（国補助）**

牛白血病の陽生牛を確認するための検査、飼養衛生管理向上のための指導、家畜の伝染性疾病の発生防止のための牛異常産ワクチンの接種を推進します。

**○特定疾病自衛防疫推進事業（県補助）**

鶏ニューカッスル病など各種予防注射を計画的に実施します。

**○農場HACCP取組体制緊急強化事業**
**（中畜受託）**

農場ＨＡＣＣＰ認証（ＧＡＰを含む）取得方法、養鶏農場の先駆的事例の講演会、普及推進会議及び農場の認証取得のための構築指導を実施します。

・酪大第二牧場H29.１.16認証取得）
・H29－酪大第一牧場、岡山ＪＡ畜産㈱、高松農高外

**⑤死亡牛のBSE検査の補完業務等**
**（H27年度～、48ヶ月齢以上）**

**○家畜衛生管理センター維持管理業務**
**（県委託）**

死亡した牛のBSE検査のため、集荷採材保管施設の維持管理を受託します。

**○死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業**
**（国補助）**

死亡牛の円滑な処理を進めるため、農家に輸送費、処理費を補助します。

**⑥生乳検査並びに乳質改善指導**

**○生乳検査受託事業（中販連受託）**

中国５県で生産される生乳の格付検査を月３回行う他、生産者ごとの乳成分や細菌数の検査等を実施し、生乳の公正かつ円滑な取引に寄与します。

また、牛群検定農家の個体別成分検査や指導検査を実施し、飼養管理の改善や乳質向上に努めます。

事業の詳細については、電話でお気軽にお尋ねください。

| | | |
|---|---|---|
| | 企画管理部 | 086-221-0511 |
| 経営支援部 | 経営対策班 | 086-222-8575 |
| 〃 | 価格対策班 | 086-234-5981 |
| | 家畜衛生部 | 086-232-8442 |

## 畜産農家からの相談対応一覧（畜産協会）

| 相談内容 | | 対　応 | 窓　口 |
|---|---|---|---|
| ①新規就農 | ・畜産を体験したい | ・オープンスクール、インターシップの紹介 | 経営対策班<br>TEL086-222-8575 |
| | ・就農したい | ・就農希望者に対する相談など、農家研修の実施（和牛入門講座等）<br>・施設整備や機械導入等補助事業、融資制度の紹介 | |
| | ・就農直後の経営をサポートしてほしい | ・経営指導、知識・技術習得の研修会の開催 | |
| | ・若手経営者が勉強する機会がほしい | ・先進的経営研修への参加、他県経営者との交流 | |
| ②経営安定 | ・畜舎、機械、草地などを整備したい | ・各種補助事業、融資制度の紹介 | ＜肉用牛（肥育）、乳用牛、飼料、負債関係＞<br>経営対策班 |
| | ・家畜を導入したい | | |
| | ・自給飼料の生産、収穫作業を委託したい | ・コントラクターの紹介 | |
| | ・稲WCSを生産、利用したい | ・関係機関と調整、マッチング | |
| | ・法人就農者を確保してほしい | ・県外での就農相談会への参加 | |
| | ・価格安定事業に参加したい | ・相談への対応 | |
| ③経営改善 | ・経営の改善を図りたい | ・経営内容の調査・診断・フォロー<br>・酪農経営支援チームとして課題に対する指導 | ＜肉用牛（繁殖）、養豚関係＞<br>価格対策班<br>TEL086-234-5981 |
| | ・新規投資をしたい | ・投資限界、経営のシュミレーションの実施 | |
| | ・青色申告をしたい | ・地区別研修会の開催 | |
| | ・法人化を図りたい | ・関係機関と連携して対応 | |
| | ・労務管理等について勉強したい | ・社会保険労務士による労務管理、経営者の心構え等の研修を開催 | |
| | ・負債を軽減したい | ・畜産特別資金や各種融資制度の紹介、関係機関と連携した経営改善指導 | |
| | ・エコフィードを利用したい | ・食品製造業者から出る余剰食品等をホームページで紹介 | |
| ⑤女性の経営参画推進 | ・女性が勉強できる機会がほしい | ・先進的経営研修の開催、県内外の研修への参加、他県の畜産女性との情報交換会の開催<br>・畜産女性の会（おかやまフォーベルネット）として中央研修への参加、他県畜産女性との情報交換会の開催 | 経営対策班 |
| ⑥六次化商品開発 | ・六次化商品を開発したい | ・研修会の開催、畜種間の情報交換会、事業協力者の紹介 | 経営対策班 |
| ⑦家畜衛生対策 | ・暑熱対策をしたい | ・石灰塗布機の貸し出し、管理方法・補助事業の紹介 | 家畜衛生部<br>TEL086-232-8442 |
| | ・伝染病の清浄化をしたい | ・白血病検査料金の一部助成 | |
| | ・農場HACCPの認証を取得したい | ・希望農家に対し構築指導 | |
| | ・予防注射を実施してほしい | ・各支部で対応 | |
| ⑧環境対策 | ・堆肥の販売先を確保したい | ・ホームページへ畜産農家の堆肥情報を掲載し、購入希望者とのマッチングを実施 | 経営対策班 |
| ⑨生乳検査 | ・生乳の品質を調べてもらいたい | ・農協等からの定期的な検査の外、依頼検査にも対応 | 生乳検査センター<br>TEL0868-54-7366 |

お気軽にお問い合わせ下さい。

〔畜産現場の声〕

# 家族ぐるみで一貫経営

奈義町　国富　登子

父の代から肉牛の肥育経営をしてきましたが、長男がサラリーマンをやめて家業を継ぐことになった平成20年、繁殖からの一貫経営も手掛けることにしました。

地元から購入した和牛の妊娠牛１頭から始め、９年経った今では７頭を管理しています。

種付けしての子牛出産や、採卵して借り腹でヌレ子を産ませ戻したり、Ｆ１のヌレ子を購入したりして、現在では和牛・Ｆ１合わせて38頭を哺育しています。多い時は50頭の時もありました。

離乳後、カウハッチに移して管理していますが、ちょっと狭いのが気になっています。

哺乳機は導入していないので、大変ですが一本一本哺乳瓶にミルクを入れて、朝の６時と午後３時に１頭ずつ与えています。

また日頃から、子牛たちの体調不良、特に肺炎に気を付けています。換気が悪いと肺炎になりやすいので、換気にも注意しています。

ここで育てた子牛は、子牛市場へ出荷して販売するのではなく、本業である肥育に回して、枝肉市場へ出荷しており、和牛は月に５頭のペースで出荷しています。

今の子牛価格の高騰を予想していたわけではないですが、素畜購入費に貢献していると思っています。

哺育作業はいろいろと大変ですが、自分が子牛から育てた牛が立派に大きく育ち、枝肉成績が良いと作業の大変さも吹き飛びます。

その楽しみとは別に息抜き（楽しみ）があります。それは、近所の畜産農家の奥さんたちと一緒に年に何回か旅行に行くことと、紙芝居を作って保育園などで発表することです。夜な夜な、子供たちの喜ぶ顔を思い浮かべながら、紙芝居の絵をワクワクしながら描いています。

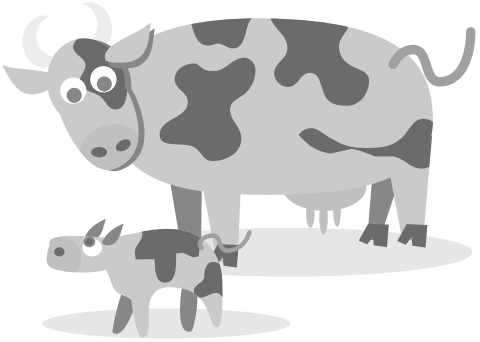
今後の目標としては、和牛の雌牛をあと３頭増やして10頭にしたいと思っています。

その為、津山市に和牛繁殖経営をやめられた方の施設を借りています。そこを繁殖専用の農場として妊娠牛の管理をしていきたいと思い、今改築しています。

今年の９月には、宮城県で第11回全国和牛能力共進会が開催されます。

うちの農場からも、肉牛の部の７区～９区に11頭の候補牛が残っており、１頭でも選抜されて出品出来ることも楽しみにしています。

今後も家族ぐるみで、一貫経営で頑張って行きます。



〔県民局だより〕

# 飼料用トウモロコシで畜産農家も耕種農家も幸せに

備前県民局畜産班

## 1　はじめに

備前県民局管内では、稲WCSや飼料用米といった水田を活用した自給飼料の生産が拡大しています。

その中でも、飼料用トウモロコシの増産に重点的に取り組んでおり、平成27年度から耕種農家での生産実証を行っています。

飼料用トウモロコシの栽培は、湿害対策や肥培管理等、まだ技術的な課題が数多くあり、地域に適した栽培体系を早期に確立する必要があると考えています。

今回は、これらの課題を解決するためにこれまでに取り組んできた実証結果や今年の取り組みについて紹介します。

## 2　平成28年度湿害対策の実証結果

### (1) ほ場の排水対策

平成27年に湿害を受けたほ場において、施肥方法を見直すとともにほ場周辺に明渠を施工し、隣接する水田から離して栽培しました。その結果、単収が前年の3.5ロールから5.8ロールと増収になりました（図１）。施肥の効果も考えられますが、適切な湿害対策を行うことにより、増収効果が得られることがわかりました。

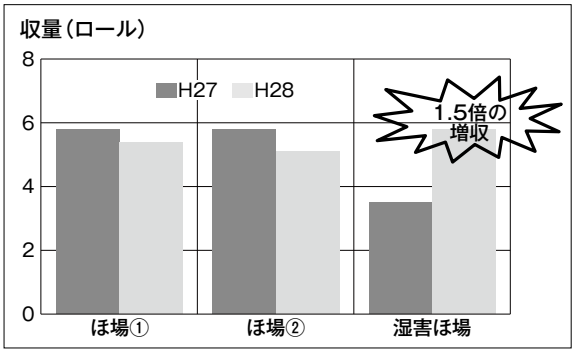



図1　湿害対策の効果

### (2) 施肥（追肥）の対策

湿害を受けたトウモロコシは、収量が著しく減少する恐れがあることから、湿害を受けたトウモロコシに追肥し、その後の生育及び収量を調査しました。

・追肥時期：播種後45日
・追肥量　：化成オール14　35kg/10a
　　（N成分５kg）

その結果、追肥区の平均収量は1,730kg/10aあり、追肥をしなかった区の920kg/10aと比べて1.9倍の増収が図られました。しかし、正常な生育をしたトウモロコシと比較すると収量は約1/2であったため、追肥時期を早めることで、大きな効果が得られるものと思われました。（図２）

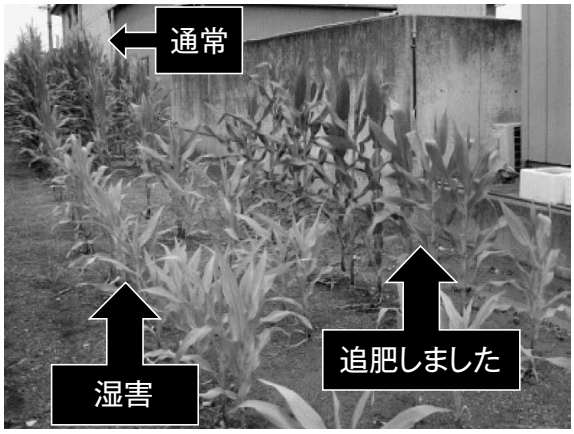



図2　追肥により収量増

## 3　今年度の取り組み

### (1) 地下水位制御システム（FOEAS）ほ場での実証

地下水位制御システム（FOEAS）とは、かんがい・排水の両機能を併せ持ち、水田において作物に応じた地下水位を設定でき、その水位を自動的に維持することができるしくみのことです（図３）。

岡山市藤田地区では、水田で畑作物を栽培する際に湿害や干ばつの影響を軽減するため、FOEASが試験的に導入されました。

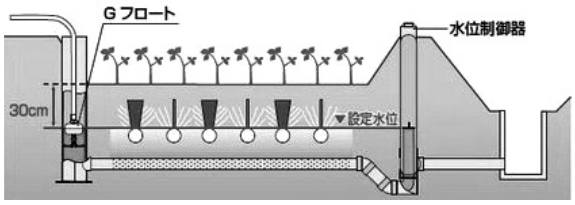



図3　FOEASの断面（クボタケミックスHP）

FOEASが導入されたほ場では、今年度から栽培実証を行い、そのうちの１か所に飼料用トウモロコシを作付しています。実証地では、生育状況の調査だけでなく、農業研究所と共同で、地下水位や土壌水分を測定し、ほ場全体の調査を実施しているところです。

(2) 施肥管理の実証

安定した収量を継続して確保するための施肥技術の調査を農業研究所と行います。堆肥に加えて被覆肥料、化成肥料を組み合わせた施肥をした場合の生育状況、収量の調査を実施します（図４）。

図4　トウモロコシの生育状況（5/22）

(3) 緑肥による土づくり実証

堆肥散布が困難な地域での土づくり対策としてマメ科の緑肥作物であるヘアリーベッチの効果を実証します（図５）。

図5　ヘアリーベッチ（6/2）

ほ場では、２月に播種したヘアリーベッチを６月にすき込み、７月にトウモロコシを播種する予定です。

## 4　畜産農家の声

昨年度生産されたトウモロコシサイレージは、県内５戸の農家で利用されています。

・雑草の混入がなく、信頼して利用できる
・発酵品質が良い（Vスコア99）
・配合飼料が減り、飼料費の低減になる
・今後も継続して利用したい

など、利用農家からは高評価を得ており、今後も継続した需要が見込め、利用も拡大するものと期待しています。

図6　乳牛にトウモロコシを給与

## 5　おわりに

今年度は、二期作分を含めて延べ約16haの飼料用トウモロコシの生産を計画しています。

備前県民局では、畜産農家も耕種農家も幸せになれるよう、これからも関係機関と連携しながら生産面・利用面の両面から支援していくこととしています。

（お知らせ）

西日本農研等が主催で、飼料用トウモロコシ等の研究セミナーを開催します。

・日程：７月20日（木）午後
・場所：ＪＡ岡山藤田営農センター及び現地

研修会では、今回取り上げたほ場の現地視察があります。興味のある方は畜産班までお問い合わせください。

〔家保のページ〕

# 「岡山家畜保健衛生所家畜病性鑑定課」の紹介

岡山家畜保健衛生所家畜病性鑑定課

岡山家畜保健衛生所には、所長以下18名の職員が勤務しています。所内には家畜保健衛生課（職員12名）と家畜病性鑑定課（職員６名）の２課があり、家畜病性鑑定課は、県下全域を業務エリアとしています。

## １　＜職員構成＞

- 所長
  - 家畜衛生課長
    - 副参事（3名）
    - 主幹（2名）
    - 主任（5名）
    - 技師（1名）
  - 家畜病性鑑定課長（所長兼務）
    - 専門研究員（3名）
    - 研究員（2名）
    - 技師（1名）

## ２　業務の構成

- 家畜病性鑑定業務
  - 病理検査部門
  - 細菌検査部門
  - ウイルス検査部門
  - 生化学検査部門
- 牛海綿状脳症（BSE）検査業務
- 調査研究業務
- 技術研修及び情報発信

### (1) 家畜病性鑑定業務（家畜疾病診断）

県下５カ所の家畜保健衛生所では確定診断が困難な家畜疾病や高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫といった家畜法定伝染病について、病理組織学的、細菌学的、ウイルス学的、生化学的な各種精密検査と疫学情報収集を実施し、迅速・的確な診断を行うことにより、家畜伝染病の発生とまん延の防止に努めています。

### (2) 牛海綿状脳症（BSE）検査業務

県内農場で死亡した48ヶ月齢以上の牛および病性鑑定牛を対象にBSE検査を実施し、県内飼養牛における清浄性維持を確認しています。

国内では平成21年に摘発された１頭を最後にBSEが発生していませんが、海外では頭数は減少したものの引き続き発生していることから、今後も検査の継続が必要となっています。

### (3) 調査研究業務

養鶏産業に大きな被害をもたらす高病原性および低病原性鳥インフルエンザについて県内養鶏場におけるモニタリング調査を実施し、清浄性を確認しています。また、流産、死産、奇形子牛などの被害をもたらすアカバネ病、アイノウイルス病、チュウザン病等について県内牛飼養農家における抗体及びウイルス分離検査を行い、異常産の流行予測を実施しています。これらの調査よりウイルスの動向を監視し、病気が発生したときに迅速な対応ができるようにしています。

### (4) 技術研修

各家保の若手職員を対象に、年に５～６回、細菌検査やウイルス検査等といった病性鑑定方法に関する研修会を実施し、県内５家保における家畜疾病診断技術の更なる向上に努めています。

### (5) 研究成果

平成28年度に研究成果としてとりまとめ、岡山県畜産関係業績発表会で報告した３演題について紹介します。

#### ①細菌部門：県内で分離されたサルモネラ血清型とその薬剤感受性

平成17～28年度に県内各家畜から分離さ

れたサルモネラ90株についてその血清型と抗生物質への感受性を調査しました。

血清型は26種類に分類され、サルモネラ・ティフィムリウム（ST）が27株と最多でした。抗生物質への感受性試験をストレプトマイシン等12種について実施したところ、８種の抗生物質で5.6～36.7%の耐性を認めました。また、2剤以上へ耐性を示す多剤耐性株が29株（32.2%）確認され、このうち８株は６剤以上へ耐性を示しました（全て牛、豚から分離されたST）。

また、近年、プラスミド介在性耐性遺伝子が関与するため耐性が伝播しやすいとされる薬剤耐性菌（基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生菌、カルバペネム耐性菌、プラスミド性コリスチン耐性遺伝子*mcr-1*保有菌）が人や家畜で問題となっていますが、今回の調査ではこれらの菌は確認されませんでした。抗菌性物質の有効性を確保するため、感受性を踏まえた適切な薬剤の使用と感受性の継続的なモニタリングの重要性を考えさせられる結果でした。

**②病理部門：化膿性髄膜脳脊髄炎を呈した子牛の腸管外病原性大腸菌感染症**

2015年11月、和牛繁殖農家において新生黒毛和種子牛が突然起立不能となり、軟便、眼振を呈する症例が発生、予後不良と判断し病性鑑定を実施しました。剖検では大脳脳溝に膿様物が付着し、脊髄軟化、胸腺菲薄を認め、組織学的には化膿性髄膜脳脊髄炎、視神経鞘における化膿性炎、肝臓および腎臓における軽度化膿性炎を認めました。大腸菌免疫血清を用いた免疫染色では脳および眼球の病変部に一致して陽性反応を認めました。細菌検査により、肝臓、脾臓、腎臓、脳より大腸菌が分離されましたが、本株は下痢原性大腸菌が通常保有する毒素や定着因子等は保有せず、腸管外病原性大腸菌（ExPEC）が保有する病原遺伝子（*iss*（血清抵抗性に関与）、*iucD*（鉄取込能に関与））を有していたことから子牛のExPEC感染症と診断しました。

ExPECは腸管外に侵入・増殖し敗血症等の病原性を示す大腸菌として近年研究が進みつつあり、鶏大腸菌症の原因菌として知られています。しかしながら、牛等の家畜ではほとんど研究が進んでいません。今後、ExPEC疑い症例については病原遺伝子を調査し情報蓄積していく予定です。

**③生化学部門：県内で発生した哺育豚のマルベリーハート病**

豚のマルベリーハート病（MHD）はビタミンE（VE）および微量元素であるセレン（Se）の欠乏により発育の良い豚（８週～７ヶ月齢）で突然死を起こすとされる疾病です。2016年４月、一貫経営農場で同腹哺育豚12頭のうち発育良好な３頭が立て続けに突然死したことから、このうち１頭（17日齢）について病性鑑定したところ、剖検により心筋および大脳の充うっ血と出血、胸水および腹水の貯留、病理組織検査により心臓における硝子血栓を伴う多発性出血、肝臓の充うっ血を伴う多発性微少壊死が認められたことからMHDと診断しました。肝組織中のVEおよびSeを測定したところ、VEのみで欠乏が確認されたことから、本症例はVE欠乏により発症したと考えられました。また、病性鑑定豚の同居哺育豚６頭の血中SeおよびVE濃度を測定したところ、こちらもVEのみ低下傾向を認めました。

近年は本症例のようにVEのみの欠乏による発症や、８週齢未満での報告も増加しつつあり、今後はVEの低下に至る原因や若齢豚での発症メカニズムの究明が必要と考えられました。

**(6) 最後に**

以上のように、岡山家畜保健衛生所家畜病性鑑定課は、県下の各家畜保健衛生所と連携しながら家畜保健衛生業務をバックアップしています。

今後とも家畜病性鑑定業務を通じ、迅速な疾病診断や伝染病のまん延防止に尽力していきたいと考えています。

〔技術のページ〕

# 平成29年度　畜産研究所の主な試験研究課題について

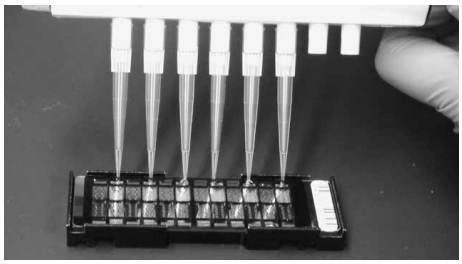
畜産研究所 経営技術研究室 企画開発グループ

畜産研究所では、畜産物の安全・安心はもとより、消費者ニーズに対応した高度な技術を迅速に開発普及するため、「ブランド力の強化」、「環境との調和と気象変動への対応」、「生産性の向上」の三つの重点分野を定め、研究開発を進めることとしています。得られた研究成果は、技術相談や現地指導、また研修会等への職員の派遣や一般県民に向けた情報発信等を通じて地域へ還元し、より身近な畜産研究所となるよう取り組んでいきたいと考えています。

平成29年度は、9の研究課題に取り組んでいます。今回は、その中で、重点的に取り組むこととしている3課題についてご紹介します。

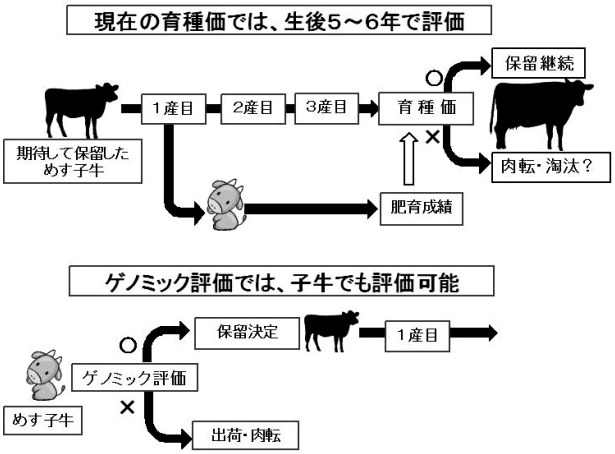
## 1　岡山和牛におけるゲノミック評価による選抜・育種改良の実用化

現在、和牛の能力評価に使っている育種価は、評価したい牛の産子で肥育成績を得てから算出するため生後5～6年かかります。まだ産子の成績がない若い牛の評価は両親の育種価から推定するしかなく、選抜の正確度に課題がありました。このため、種雄牛の選抜ではSNPチップを利用した遺伝子解析によるゲノミック評価を一つの指標としており、平成29年度からは繁殖雌牛の改良にもこのゲノミック評価を利用します。



SNPチップへサンプルを注入

ゲノミック評価は毛根等から遺伝子を採取・解析するため、子牛の段階で評価が可能であり、繁殖雌牛の改良速度が飛躍的に向上することが期待でき、優れた繁殖集団の整備を通じておかやま和牛肉のブランド力の強化につなげていきたいと考えています。




## 2　和牛産地を支える水田里山の戦略的展開

本県の中山間地域における肉用牛経営は、高齢化等により、生産者が減少し、肥育素牛の供給能力低下が懸念されています。このため、作業負担を軽減した飼養管理技術による生産性の向上が課題となっています。

そこで、稲WCSなどの地域産自給飼料と、醤油粕などの未利用資源を活用した、和牛向け低コスト発酵ＴＭＲの開発を進めています。特に、小規模経営でも取り扱い易いよう、40Lのビニール製小袋と100Lのフレコンバック仕

40L小袋

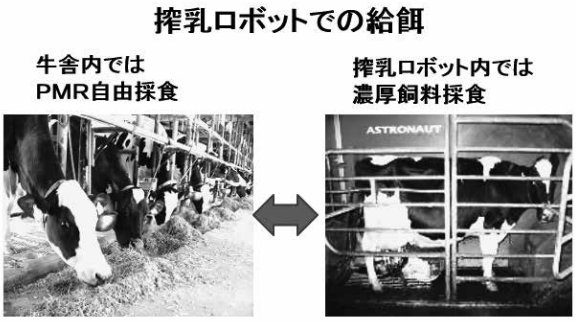
様を検討しています。これまでの試作では、いずれも良好な発酵品質を示し、特に小袋については、取り扱いが容易で、利便性も良好でした。また、この小袋による４～８ヶ月齢の和牛子牛への給与実証では嗜好性が良く、発育も良好な結果が得られました。

農家給与実証

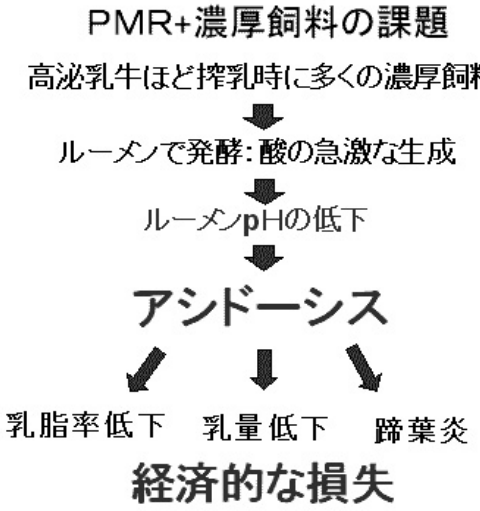
今後は、小袋TMRの経済性の検討とともに稲WCSと食品製造副産物等の地域資源を活用した和牛成牛用の発酵TMRの開発及び繁殖雌牛への利用を検討する計画です。

### ３　搾乳ロボットでの飼養管理技術の検討

搾乳ロボットは、生産性が高く、搾乳作業の負担が大幅に軽減されることから、今後、導入農家の増加が予想されます。搾乳ロボット利用農家では、牛は、搾乳時にロボットで給与される濃厚飼料と、牛舎の餌槽で提供される混合飼料（PMR）の２種類の飼料で飼養管理されています。一般的に、濃厚飼料の給与量が増えるとルーメン内pHが下がり、牛の健康に悪影響を及ぼすことが知られていますが、その程度はPMRの粗飼料原料や濃厚飼料の内容で変わると考えられているため、今年度は、稲WCSやトウモロコシWCS、乾草等、粗飼料の種類を変えてPMRを調製し、ルーメン環境や乳成分等への影響を調べる計画です。




今後、ルーメン内pHを変動させにくい濃厚飼料の開発も行うこととしており、搾乳ロボット導入農家が、より健康に牛を飼育できる栄養管理技術の確立を目指しています。




以上、簡単ではありますが、平成29年度の主な取り組みについて紹介しました。今後ともフィールドで活用可能な技術について、様々な機会を利用し普及啓発に努めていきます。

〔特集〕

# 最終審査会までカウントダウン！
# ～第11回和牛能力共進会宮城大会への取組状況～

第11回全共岡山県出品対策協議会事務局

いよいよ今年９月に開催される第11回全国和牛能力共進会宮城大会（以下、全共）の最終審査会まで２カ月あまりとなり、秒読み体制となってきました。

４月末に公益社団法人全国和牛登録協会へ計84頭（種牛の部：23頭、肉牛の部：59頭、高校の部：２頭）の候補牛の出品申込みを行ったところです。今後、県内最終選抜を経て、最終的に出品牛を決定することとしておりますが、本誌が皆さまのお手元に届く頃には、「種牛の部」並びに「高校の部」の県内最終選抜会が開催され、出品牛が決定している頃だと思います。

全共の出品対策の取組状況等について、本誌（平成28年10月号）で紹介させていただいているところですが、その後の取組と本大会までのスケジュールなど紹介をさせていただきたいと思います。

## １　岡山県出品対策協議会の取組

第11回全共岡山県出品対策協議会（以下、協議会）は、前回の長崎大会終了後の平成25年３月に設立され、これまで、受精卵による候補牛の作出や巡回指導など出品に向けた取組を実施してきました。さらに、９月の宮城県での最終比較審査への出品牛の選抜や出品への支援を行います。

### (1) 種牛の部

種牛の部の出品申込牛の概要については、表１のとおりです。３月30日（木）には、全国和牛登録協会の向井会長、穴田専務理事、山口課長を迎え、岡山和牛育種組合との共催により、集合審査会を実施しました。

集合審査会には、全共出品申込牛の中から、「新初英」「北盛栄」「藤沢茂」の産子と、４区（系統雌牛群）の「千代玉」産子の計16頭が出品され、出品牛の特色や栄養度、全共に向けた今後の飼養管理などについて御指導を賜りました。

やや体上線や栄養度の面で改善が必要な牛がいるということで、猛暑となる前にしっかりと運動させるようアドバイスを受けたことから、各地域では、６月30日の県内最終選抜会に向けて、最後の調整に取り組んでいるところです。

表1　「種牛の部」出品申込牛概要

| 出品区分 | 出品頭数 | 出品申込牛 | 取組地域 |
|---|---|---|---|
| 1区（若雄） | 2頭 | 3頭 | 畜産研究所（新見･津山） |
| 2区（若雌の1） | 1頭 | 4頭 | 新見･津山 |
| 3区（若雌の2） | 1頭 | 2頭 | 津山 |
| 4区（系統雌牛群） | 1群4頭 | たま系　5頭 | 津山 |
| 6区（高等登録牛群） | 1群3頭 | 1群・3頭 | 津山 |
| 7区（総合評価群） | 1群4頭 | 「北盛栄」産子6頭 | 新見 |

集合審査会（全共4区：系統雌牛群）

### (2) 肉牛の部

肉牛の部については、これまで74頭の候補牛が県下７農場で肥育されてきましたが、４月末の出品申込を行うにあたり、これまでの個別巡回で実施した体重測定や超音波スキャンの画像診断等の結果を勘案し、出品申込牛の絞り込みを行いました。

各区の出品申込牛の概要については、表２のとおりです。

**表2 「肉牛の部」出品申込牛概要**

| 出品区分 | 出品頭数 | 種雄牛 | 取組状況 | 取組地域 |
|---|---|---|---|---|
| 7区（総合評価群） | 1群3頭 | 北盛栄 | 10頭 | JAびほく<br>JA阿新<br>JA真庭<br>JA勝英<br>（7農場） |
| 8区（若雄後代検定群） | 1群3頭 | 藤沢茂 | 10頭 | |
| 9区（去勢肥育牛） | 2頭 | 美咲鶴<br>北盛栄<br>藤沢茂 | 59頭<br>（上記20頭含） | |

特に、７区と８区においては、申込牛の上限がそれぞれ10頭と規定されていることから、肉質・重量に優れることはもちろんの他、牛群の斉一性も考慮に入れ、慎重に選定しました。

**表3 「肉牛の部」選抜基準**

| 出品申込牛選抜（4月末） | 最終選抜（7月末） |
|---|---|
| ・枝肉重量が420kgを上回る可能性が高いもの | ・枝肉重量が420kgを上回る可能性が高いもの |
| （H29.3の体重が550kg以上） | （H29.7の体重が660kg以上） |
| ・超音波スキャンの結果が良好なもの | ・超音波スキャンの結果が良好なもの |
| ・ビタミンAコントロールが良好なもの | |
| ・群内の全兄弟は３頭以内とする | |

肉牛の部では、枝肉格付けによる評価が基本となりますが、今回の全共から、脂肪交雑のBMSNo.10以上の評価がフラット化されたことから、「肉量評価（歩留基準値）」や前回から導入された「脂肪の質（一価不飽和脂肪酸の割合）」が上位入賞のポイントになると考えられます。

**超音波スキャンの様子**

### (3) 高校の部

今回、大会の付帯行事として、将来の和牛の担い手の育成と東日本大震災からの復興を全国にアピールすることを目的として、農業高校生により出品される区が設けられました。

本県では、県立瀬戸南高校において、出品条件に合う候補牛が２頭生産され、現在、学生中心で、日々の調教運動などに取り組んでいます。

高校の部については、出品牛の審査に加え、日々の活動や共進会に向けた活動などについての「取組発表」も審査の対象となっています。このことから、学内での活動に加え、学校の御理解もいただきながら、学外で行われている研修会などにも積極的に参加し、県内の生産者とも交流を広げるなど、研鑽を積んでいます。開会式直後の審査では、すばらしい発表で、「チーム岡山」としての幸先の良い滑り出しを期待しています。

## ２　今後のスケジュール

| | |
|---|---|
| 6/30 | 種牛の部最終選抜会（久世市場） |
| 7/末 | 肉牛の部出品牛選抜 |
| 8/17 | 県出品対策協議会結団式<br>（津山市総合福祉会館） |
| 9/ 4 | 種牛・出品団　現地へ向けて出発 |
| 5 | 〃　現地到着 |
| | 肉牛　現地へ向けて出発 |
| 6 | 〃　現地到着 |
| 7 | 開会式、高校の部審査 |
| ～ | （審査・等位決定・枝肉セリなど） |
| 11 | 閉会式、種牛・出品団現地を出発 |
| 12 | 種牛・出品団帰岡 |

最後になりますが、今回の大会は、岡山より距離にして約1,000km、しかも、残暑厳しい９月始めの開催と、出品牛・出品団ともにこれまでに経験したことのない、非常に厳しい大会になると予想されます。大会まで残された時間は少ないですが、当協議会では、岡山和牛の改良成果と生産者の技術力の高さを全国にアピールできるよう、最後の最後まで、上位を目指して、全力で出品対策を行って参りたいと考えておりますので、御理解と御協力を賜りますようよろしくお願いします。

〔6次化商品の紹介①〕

# 地域とのコラボレーション

(一社)岡山県畜産協会　経営対策班

岡山県内には理念やこだわりをもち、様々な工夫を凝らして畜産物の加工販売に取り組んでいる経営者の方々がいます。今回は「地域コラボ」をテーマにその商品をご紹介します。

## 福谷チーズ工房
## チーズ職人×高校生

岡山市に工房を構える福光さんは元酪農家で、地域で生産された生乳を使用しチーズを作られています。

高松農高の生徒と共同開発したテンペチーズは、福谷チーズ工房のゴーダチーズとJAの女性部が作ったテンペ（大豆発酵食品）から生徒が製造しています。生徒たちが研究していたテンペの加工品を商品化するにあたり、提携を行い、製造指導などを経てオリジナルのチーズが生まれました。

福光さんは、お客さんとチーズの話ができる直売を基本とされ、チーズ作り体験も工房ができる前から続けられています。酪農家の頃からふれあい牧場として消費者と交流されており、今日では、釜を貸してピザ作り体験の提供や、施設の一部の地域への開放を行っています。

現在は、一人でチーズの製造・販売をされているので購入される方は事前に連絡されることをお薦めします。

| |
|---|
| 岡山市北区河原903-1　TEL086-299-0730（9：00 ～ 17：00）　定休日　土日祝 |

## イタリアンジェラートLATTE（ラッテ）
## 酪農家×地元の食材

ラッテでは、搾りたての牛乳のおいしさと地元産の旬の素材を活かしたジェラートを提供されています。

白桃は規格外品を知り合いから購入されたり、安納芋は近所の畑で自ら収穫されたりと、地域での結び付きから新商品が生まれています。また、フルーツトマトのジェラートは、JAの若手グループの繋がりから商品化されました。

店内はオムツ替えシートなど子供連れでも利用しやすい配慮がなされており、今後はお客さんがゆっくりくつろげるようお店を広くしたいと考えられています。現在の課題は冬場の集客で、自家製チーズと津山産小麦を使ったピザの販売を計画中とのこと。

商品は津山まなびの鉄道館などでも購入できますが、ジェラートのなめらかな食感を味わうにはラッテで食べるのが一番だそうです。これからの季節のお薦めは、白桃ジェラートと手作りわらび餅のパフェです。

| |
|---|
| 津山市大田750-1　TEL0868-27-2660（11：00 ～ 17：00）　定休日　水曜日 |

CHUGOKU SHIKOKU COLLEGE OF DAIRY FARMING

平成30年度

# 学生募集

牛たちとのふれあい、
仲間との楽しい時間。
大自然の中、一生に残る
2年間を過ごしてみませんか？

■推薦入試
受付期間：平成29年10月1日～10月16日
試験日：平成29年10月27日（岡山会場）
10月30日（本校会場）

■一般1次募集
受付期間：平成29年11月13日～24日
試験日：平成29年12月4日

■一般2次募集
受付期間：平成30年2月1日～19日
試験日：平成30年3月5日

平成29年
## オープンキャンパス

第1回予定日
**7月20日（木）～21日（金）**

第2回予定日
**8月24日（木）～25日（金）**

2年間で酪農経営力を身につけます！

酪農に必要な資格が取得できます！

奨学金の制度もあります！

公益財団法人
## 中国四国酪農大学校

SEARCH! 中国四国酪農大学校 GO!

〒717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632　TEL（0867）66-3651　FAX（0867）66-3652

# 岡山県農業大学校　平成30年度入学　学生募集について

農業大学校は、将来農業経営を志す方や農業に関心の高い方が、農業に関する幅広い技術と知識を身につけるため設けられた教育施設です。

**１　農業大学校で何が学べるのですか？**

園芸課程と畜産課程の２課程があり、園芸課程には果樹・野菜・花き、畜産課程には和牛のコースを設けています。

また、トラクター・けん引運転免許、アーク溶接、危険物・毒物劇物取扱、小型建機、家畜人工授精等の資格取得のための研修会や講義を授業に組み込んでいます。

**２　どこにあるのですか？**

場所は赤磐市東窪田に本校があり、久米郡美咲町北に分校（畜産課程）があります。修業年限は２年間となっています。

**３　入学金や授業料は？**

入学金は不要で、授業料は年間118,800円です。

なお、平成19年度から専修学校となったことから、日本学生支援機構（旧日本育英会）の奨学金が受けられます。

**４　受験したいのですが、どうすれば？**

受験資格は平成30年３月末時点で高等学校を卒業している方、またはこれと同等以上の学力があると認められる方です。

願書の受付は、推薦入試が平成29年８月23日(水)～ ９月６日(水)、一般入試(前期)が平成29年10月11日(水)～ 10月25日(水)、一般入試(後期)が平成30年１月4日(木)～１月17日(水)までとなっています。ただし一般入試(後期)は合格状況によっては実施しないことがあります。

提出書類や入試日程など詳しくは、本校ホームページ

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/234/

をご覧いただくか、岡山県農林水産総合センター農業大学校（電話086-955-0550）もしくは最寄りの農業普及指導センターまでお問い合わせ下さい。

**５　農業大学校を訪問したいのですが？**

事前申込があれば施設見学は可能（土曜日・日曜日・祝日は午前中のみ）ですが、オープンキャンパスを次により開催しますので、ぜひ参加をお願いします。

---

**── オープンキャンパスのご案内 ──**

将来、岡山県で農業を志す者や農業に関心がある高校生等を対象に、農業大学校の専攻コースやプロジェクト活動等の内容を説明するとともに、教育施設や生活施設見学を行うことで、本校教育の理念や魅力を知っていただくため開催するものです。

**実施日：**平成29年７月28日(金)

**開催場所：**

岡山県農林水産総合センター農業大学校本校（赤磐市東窪田157）および分校（久米郡美咲町北2272）

**対象者：**

高校在学生（学年は問いません）及び高校卒業生。保護者等も参加できます。

**申込期間：**

平成29年７月７日(金)まで

**申込方法：**

参加申込書に記入の上、期限までに送付して下さい。

参加申込書は各高校や農業普及指導センターで入手できるほか、本校ホームページからもダウンロードできます。

**参加申込書の送付先：**

〒701-2223 岡山県赤磐市東窪田1570

岡山県農林水産総合センター農業大学校

健康な仔牛づくりへの
一歩目はこれから！

弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全てのステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダー品の設計や生産、飼料米の粉砕などの原料の加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

醗酵飼料のパイオニア
フタバ飼料株式会社
〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1
TEL 086-953-0832　FAX 086-953-1870
E-mail：futabashiryo.co.jp

## 取扱品目のあらまし

動物用ワクチン・血清類一切,獣医畜産用薬品全般

家畜・家禽の飼料添加剤各種,獣医畜産用器具機械類

衛生材料（ガーゼ・脱脂綿・繃帯・その他）

土壌関係検査測定器具・試薬

JYUCHIKU Co. Ltd.

**株式会社 ジュウチク**

岡山市北区奉還町4-4-11 岡獣ビル内　TEL 086-214-2288
FAX 086-214-2287

GEA ORION

酪農のすべてにソリューションを。

ORION TOTAL SOLUTION

牛群管理 搾乳システム 自動給飼 生乳冷却 糞尿処理

マルチボックス搾乳ロボット

mI ONE エムアイ ワン 搾乳システム

You Tube チャンネル【ORION for Dairy】▶

西日本オリオン株式会社

本　社：〒812-0006　福岡市博多区上牟田1-13-14　TEL.092-477-8480
営業所：岡山・津山・広島・瀬戸内・鳥取・出雲・大阪・福岡・大分・熊本・人吉・鹿児島・鹿屋・種子島・沖縄

OHAYO

岡山県産　生乳100%使用

晴れの国 おかやま牛乳

県産生乳100% 晴 おかやま

©岡山県「ももっち」

岡山県産の牛乳を100% 使用した牛乳です。
岡山県下、各地域から集乳した生乳を
使用しました。

www.ohayo-milk.co.jp　オハヨー乳業株式会社

# 高 知 競 馬 開 催 案 内

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

岡山県馬事畜産振興協議会（事務局　岡山県畜産協会）は、平成29年７月22日（土）に高知競馬場において、「岡山県ももたろう特別」競走の本年度第１回目を開催します。

| 7　月 | | | | | | | | 8　月 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開催日 | | | 備　考 | 開催日 | | | 備　考 | 開催日 | | | 備　考 | 開催日 | | | 備　考 |
| 1 | 土 | ○ | ナイター | 17 | 月 | ○ | ナイター | 1 | 火 | | | 17 | 木 | | |
| 2 | 日 | ○ | ナイター | 18 | 火 | | | 2 | 水 | | | 18 | 金 | | |
| 3 | 月 | | | 19 | 水 | | | 3 | 木 | | | 19 | 土 | ○ | ナイター |
| 4 | 火 | | | 20 | 木 | | | 4 | 金 | | | 20 | 日 | ○ | ナイター |
| 5 | 水 | | | 21 | 金 | | | 5 | 土 | ○ | ナイター | 21 | 月 | | |
| 6 | 木 | | | 22 | 土 | ○ | ナイター | 6 | 日 | ○ | ナイター | 22 | 火 | | |
| 7 | 金 | | | 23 | 日 | ○ | ナイター | 7 | 月 | | | 23 | 水 | | |
| 8 | 土 | ○ | ナイター | 24 | 月 | | | 8 | 火 | | | 24 | 木 | | |
| 9 | 日 | | | 25 | 火 | | | 9 | 水 | | | 25 | 金 | | |
| 10 | 月 | | | 26 | 水 | | | 10 | 木 | | | 26 | 土 | ○ | ナイター |
| 11 | 火 | | | 27 | 木 | | | 11 | 金 | | | 27 | 日 | ○ | ナイター |
| 12 | 水 | | | 28 | 金 | | | 12 | 土 | | | 28 | 月 | | |
| 13 | 木 | | | 29 | 土 | ○ | ナイター | 13 | 日 | | | 29 | 火 | | |
| 14 | 金 | | | 30 | 日 | ○ | ナイター | 14 | 月 | | | 30 | 水 | | |
| 15 | 土 | | | 31 | 月 | | | 15 | 火 | | | 31 | 木 | | |
| 16 | 日 | ○ | ナイター | ナイター（15:30～20:50） | | | | 16 | 水 | | | ナイター（15:30～20:50） | | | |

## ホ ッ ト ニ ュ ー ス

平成29年５月29日（日）、岡山県馬事畜産振興協議会（事務局　岡山県畜産協会）は、美咲町まきばの館（岡山県畜産研究所内）で開催された『感謝祭』に参加した。県民の畜産への関心や理解を深めるために、「牛、鶏さんの話」や「森光子の元気メニュー！」などのPRパンフレットを配布した。

晴天に恵まれ、早咲きのラベンダーが咲きほこる場内は、乳搾りやアイスクリーム作りを体験したり、岡山県産交雑牛肉『清麻呂』の試食や県産和牛肉の串焼きに舌鼓を打ったりする来場者で賑わいを見せていた。

**訂正とお詫び**

４月号「岡山県畜産関係者名簿」の記載に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

P10：備中県民局　（誤）主　幹　石川　和人
　　（正）副参事　石川　和人

皆さまにご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させて頂きます。

## あとがき

先日『岡山県装削蹄師会』の役員会に出席した。当会は平成４年７月、削蹄師とその関係機関によって設立され、既に25年が経過している。

この間、削蹄師の皆さんは畜産農家での削蹄はもちろんのこと、牛削蹄競技大会に参加したり、酪農大学校等で指導したりして、削蹄及び護蹄の普及に尽力され、本県の畜産に大きく寄与されてきた。

牛の蹄は人の爪と同様日々伸びているので、年に２回程度、４本の蹄を切ったり底面を整えたりする作業が必要となる。動く牛を固定し、足を持ち上げての削蹄作業は重労働で危険を伴い、熟練を要する。しかし削蹄しなければ牛は健康を損なうだけでなく、そのストレスから飼育年数も短くなる。この経済的損失を考えると、削蹄は畜産農家にとって欠かすことのできない手入れである。

削蹄は目立たない地味な仕事ではあるが、削蹄師の皆さんはスペシャリストとしての誇りを持って日々取り組まれている。その後ろ姿を見て若い後継者が育っていることも頼もしい。（N･S）

**岡山畜産便り　6月号（初夏号）**

第68巻　第4号（通巻669号）
平成29年6月25日発行
定価250円（消費税･送料含）

発行人　樋口義男　　編集人　柴田範彦
発行所　**一般社団法人　岡山県畜産協会**
〒700-0826　岡山市北区磨屋町9-18　岡山県農業会館5階
TEL 086－222－8575　FAX 086－234－6031
印刷所　ノーイン株式会社

## 岸化学グループ

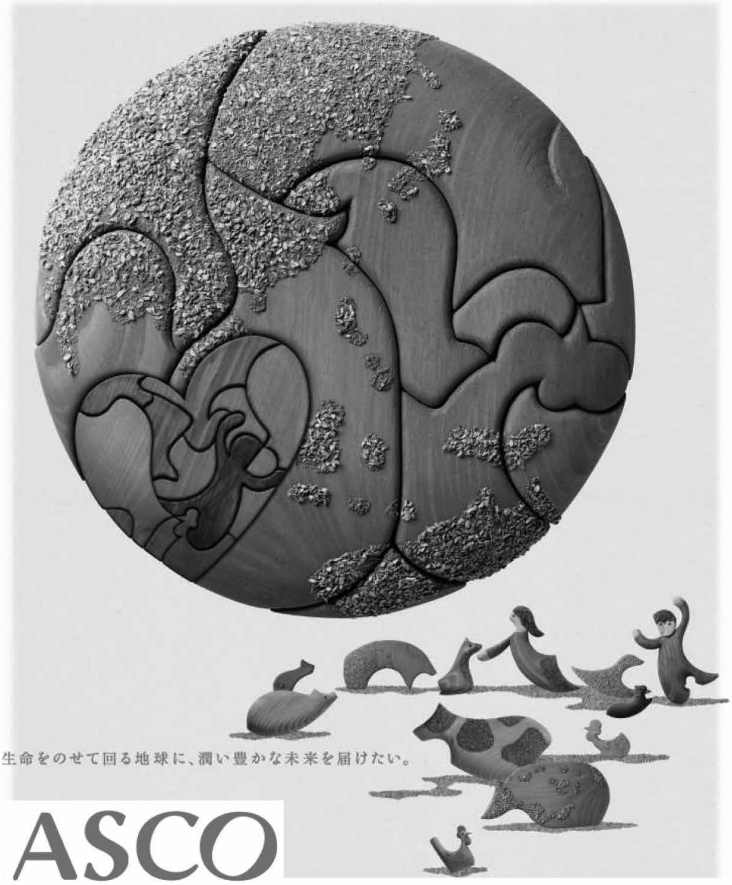
## 株式会社　正和

代表取締役　岸　小三郎

| | | | |
|---|---|---|---|
| 岡山本社 | 〒712-8055 | 岡山県倉敷市南畝1丁目13番1号 | TEL 086（450）3807<br>FAX 086（450）4008 |
| 広島事業所 | 〒738-0513 | 広島県佐伯区湯来町大字伏谷字今山137番58 | TEL 0829（40）5177<br>FAX 0829（40）5178 |
| 福山事業所 | 〒729-3102 | 広島県福山市新市町相方1089-19 | TEL 0847（54）2007<br>FAX 0847（54）2008 |
| 鳥取事業所 | 〒680-0906 | 鳥取県鳥取市港町51番地 | TEL 0857（50）1736<br>FAX 0857（50）1738 |
| 津山事業所 | 〒708-1544 | 岡山県久米郡美咲町周佐1377-4 | TEL 0868（62）1232<br>FAX 0868（62）1233 |

### 取扱品目

- 死亡牛・死亡豚他の処理
- 有機性汚泥
- 廃食油
- 動植物性残渣
- 医療廃棄物




## 株式会社 アスコ

http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

**本 社**

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

**営業所所在地**

- 東日本支店
  児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
  東京、大宮、宮城、福島
- 中日本支店
  豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- 西日本支店
  広島、福山、山口、米子、岡山
  大阪、京都



岡山畜産だより　平成二十九年六月号（初夏号）
（第六十八巻第4号通巻六六九号）
平成29年6月25日発行
発行所　岡山県畜産協会　岡山市北区磨屋町九―十八　岡山県農業会館
定価　一部　二五〇円（送料共）　年間　一五〇〇円（送料共）